

- 2005年.
- 14) 久保田健彦: MMPの転写促進活性を有する遺伝子多型は歯周病のリスクファクターになりうるか? 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究(B) 課題番号 15791235, 2005年.
 - 15) 伊藤晴江: 抑制性T細胞の機能亢進による歯周疾患免疫療法の基礎研究. 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究(B) 課題番号 17791552, 2005年.
 - 16) 島田靖子: 歯周炎における可溶性TNF受容体の解析. 日本学術振興会科学研究費補助金, 若手研究(B) 課題番号 17791553, 2005年.
 - 17) 中島貴子: 歯周炎の免疫応答におけるNKT細胞の役割 - 感染防御と自己組織破壊の接点. 新潟大学プロジェクト推進経費(若手研究者奨励研究) 2005年.
 - 18) 多部田康一: Tooth ミューテーションの同定によるマウス歯牙形成不全責任遺伝子の同定. 新潟大学プロジェクト推進経費(若手研究者奨励研究) 2005年.
 - 19) 村田雅史: 歯周ポケットに対するCO₂レーザーの応用. 新潟大学プロジェクト推進経費(若手研究者奨励研究), 2005年.
 - 20) 丸山 薫: 歯周病組織における組織破壊に関連するT細胞サブセットの検討. 新潟大学プロジェクト推進経費(若手研究者奨励研究), 2005年.
- 【その他】
- 1) 小林哲夫, 魚島勝美, 藤井規孝, 中島貴子, 石崎裕子: 平成16年度臨床研修医症例報告集第5号, 新潟大学歯医学総合病院, 新潟, 2005年7月.
 - 2) 小林哲夫: 第5回日本歯周病学会学術賞, 2005年9月22日.
 - 3) 村田雅史: 新潟明訓高校進学セミナー, 新潟, 2005年10月26日.
 - 4) 村田雅史: 侵襲性歯周炎症例に対する再生治療と歯周病原性細菌のモニタリング. 新潟市歯だより, 第171号, 10-14頁, 2006年.
- 組織再建口腔外科学分野
- 【論文】
- 1) Nakazato T., Shingaki S., Kitamura N., Saito C., Kuwano R., Tachibana M.: Expression level of vascular endothelial growth factor-C and -A in cultured human oral squamous cell carcinoma correlates respectively with lymphatic metastasis and angiogenesis when transplanted into nude mouse oral cavity. *Oncol Rep*, 15(4): 825-30, 2006.
 - 2) Hamamoto Y., Takahashi K., Sakurai H., Akiba K., Izumi N., Kanoh H., Yoshizawa M., Saito C.: The use of enamel matrix derivative (Emdogain®) for improvement of probing attachment level of the autotransplanted teeth. *Dental Traumatology*, 21: 336-340, 2005.
 - 3) Shimamura T., Amizuka N., Freit LM., White JH., Herndonson JE, Shingaki S., Nakajima T., Ozawa H.: Histological observation on the microenvironment of osteolytic bone metastasis by breast carcinoma cell line. *Biomedical Research*, 26(4): 159-172, 2005.
 - 4) Nomura T., Gold E., Powers MP., Shingaki S., Saito C., Katz JL.: A clinical case report: Interface analysis of a successful well-functioning transmandibular implant from a cadaver mandible. *J Biomed Mater Res B Appl Biomater*, 21: 213-218, 2005.
 - 5) Masuyama T., Miyajima K., Ohshima H., Osawa M., Yokoi N., Oikawa T., Taniguchi K.: A novel autosomal recessive mutation whitish chalk-like teeth (wct) resembling amelogenesis imperfecta maps to rat chromosome 14 corresponding to human 4q21. *Eur J Oral Sci*, 113(6): 451-456, 2005.
 - 6) Shibahara T., Yoshimura G., Inoue T., Saito C.: Malignant Fibrous Histiocytoma of the Neck. *Asian J Oral Maxillofac Surg*, 17(2): 85-87, 2005.
 - 7) 中里隆之, 新垣 晋, 北村信隆, 船山昭典, 齊藤 力: 口腔扁平上皮がん細胞株におけるVEGF-familyの発現とリンパ節転移との関連について. *頭頸部癌* 31(1): 84-88, 2006.
 - 8) 小林孝憲, 勝良強詞, 小田陽平, 加納浩之, 鈴木 誠: 臨床病理検討会レポート. *新潟歯学会誌* 35(2): 31-34, 2006.
 - 9) 小山貴寛, 飯田明彦, 芳澤享子, 齊藤 力, 高木律男: 凍結培養細胞を用いた培養複合口腔粘膜作製に関する基礎的研究. *口科誌* 54(2): 253-263, 2005.
 - 10) 興地隆史, 芳澤享子: 自家移植歯の歯内療法. *日本歯内療法学会雑誌* 26(3): 175-183, 2005.
 - 11) 佐々井敬祐, 島村拓也, 新垣 晋: 顎顔面骨骨折207症例の臨床的検討. *群馬医学* 81: 25-27, 2005.
- 【著書】
- 1) 新垣 晋, 齊藤 力: 一般臨床家, 口腔外科医のための口腔外科ハンドマニュアル'05 (瀬戸院一他編) 顎骨切除と軟組織再建(処理): pp101-104, クインテッセンス出版, 東京, 2005.
 - 2) 齊藤 力: 2006今日の治療指針 (山口 徹他編) 顎変形症: pp1093-1094, 医学書院, 東京, 2006.
 - 3) 齊藤 力: 動画とイラストで学ぶ抜歯のテクニク

ク(齊藤 力編):医歯薬出版株式会社,東京,2006.

- 4) 齊藤 力:口腔外科マニュアル(佐藤田鶴子他編)第2章口腔外科的疾患:pp55-60,南山堂,東京,2006.

【商業誌】

- 1) 齊藤 力:Le Fort I型骨切り術における安全で確実なダウンフラクチャー法.歯科臨床研究,Vol.2 No.2,pp104-105,クインテッセンス,東京,2005.

【研究成果報告書】

- 1) 河野正司,齊藤 力,高木律男,前田健康,鈴木一郎,依田浩子,飯田明彦,芳澤享子,小森孝英,寺師浩人,古田 勲:培養複合口腔粘膜を用いた口腔機能の再建.2002-2004年度文部科学省高度先進医療開発経費(B研究)研究成果報告書.
- 2) 泉 直也:凍結保存歯の歯周組織は再生するか.平成16年度科学研究費補助金若手研究(B).実績報告書,課題番号:16791231,2005年.
- 3) 小林正治,新垣 晋,泉 直也:合成3-benzothiepin誘導体の下顎骨仮骨延長術における骨形成促進作用.2001-2004年度科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書,研究課題番号:13672095,2005年.

【講演・シンポジウム】

- 1) 芳澤享子:歯根完成歯の即時自家移植.平成17年度新潟大学歯学部同窓会学セミナー,2005.6.11,新潟.
- 2) 芳澤享子:口腔外科における再生・移植医療.新潟細胞・再生療法シンポジウム,2006.1.28,新潟.
- 3) 芳澤享子:歯の移植の臨床.平成17年度歯科臨床研修医セミナー,2006.2.1,新潟.
- 4) 泉 直也:口腔内装置による閉塞型睡眠呼吸障害の治療.平成17年度新潟大学歯学部同窓会定期セミナー第3回,2005.9.17,新潟.
- 5) 小林正治:インプラント植立のための顎堤形成.「二十日会」(柏崎市歯科医師会のスタディグループ)講演会,2005.1.21,新潟.
- 6) 小林正治:閉塞型睡眠呼吸障害に対する歯科的治療.「二十日会」(柏崎市歯科医師会のスタディグループ)講演会,2005.2.18,新潟.
- 7) 小林正治:口の中の病気.新潟県国民健康保険連合会講演会,2005.9.21,新潟.
- 8) 小林正治:口腔内装置による閉塞型睡眠呼吸障害の治療.三条市歯科医学会,2005.11.19,新潟.
- 9) 齊藤 力:顎変形症の診断と治療.中国・中華口

腔医学会,顎変形症の治療と診断のシンポジウム,2005.10.23,大連市,中国.

- 10) 齊藤 力:顎変形症トレーニングコース.明海大学・朝日大学生涯研修セミナー,2006.2.4,福島.
- 11) 齊藤 力:最近の顎変形症治療.神戸大学顎口腔疾患研究会,2006.3.18,兵庫.
- 12) 齊藤 力:顎変形症診療ガイドライン.口腔外科疾患診療のためのガイドラインのシンポジウム,第50回日本口腔外科学会総会,2005.10.23-25,大阪.

【学会発表】

- 1) Yoshizawa M., Koyama T., Nakanishi Y., Ono Y., Iida A., Saito C., Takagi R.: Development of a Tissue-Engineered Human Oral Mucosa in an Animal Product-Free Culture System. International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, Vienna, Austria Aug 29-Sep 2, 2005.
- 2) Kojima T., Amizuka N., Suzuki A., Yoshizawa M., Saito C., Maeda T.: Histological examinations on bone augmentation by a combination of a bioresorbable plate and bone filling hydroxyapatites. the 2nd Joint Meeting of the European Calcified Tissue Society and the International Bone and Mineral Society, Geneva, Switzerland, June 25-29, 2005.
- 3) Kojima T., Amizuka N., Saito C., Maeda T.: Achieving Bone Augmentation with Hydroxyapatite and a Polylactic Acid Plate: a histological study in rats. the 27th Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research, Nashville, Tennessee, USA, Sep 23-27, 2005.
- 4) Shimomura J., Amizuka N., Kojima T., Maeda T., Goltzman D., Karaplis A., Shimooka S.: Intracellular localization of mutant PTH/PTHrP receptors in cultured osteoblasts. the 27th Annual Meeting of the American Society for Bone and Mineral Research, Nashville, Tennessee, USA, Sep 23-27, 2005.
- 5) Nakanishi Y., Izumi K., Yoshizawa M., Kawano Y., Maeda T., Saito C.: The expression of endothelial growth factor in oral mucosa substitute. 35th Annual Meeting & Exhibition of the American Association for Dental Research, Orlando, U.S.A., Mar 8-11, 2006.
- 6) Kobayashi T., Takata Y., Yoshizawa M., Shingaki S., Saito C.: Vertical Distraction Osteogenesis of a

- Free Vascularized Fibula Flap in a Reconstructed Mandible: A Case Report. 17th International Conference on Oral and Maxillofacial Surgery, Vienna, Austria, Aug 29-Sep 2, 2005.
- 7) 長谷部大地, 小田陽平, 小林正治, 新垣 晋, 齊藤 力: 下顎角傍骨膜に発生した血管腫の1例. 第59回日本口腔科学会総会, 2005. 4. 21-22, 徳島.
- 8) 芳澤享子, 小林正治, 齊藤 力, 小野和宏, 高木律男: 歯の即時自家移植に関する臨床的検討. 第59回日本口腔科学会総会, 2005. 4. 21-22, 徳島.
- 9) 新垣 晋, 中里隆之, 小田陽平, 新美奏恵, 船山昭典, 小林正治, 鈴木一郎, 齊藤 力: 再発頭頸部扁平上皮癌の治療成績. 第59回日本口腔科学会総会, 2005. 4. 21-22, 徳島.
- 10) 西澤理史歩, 永田昌毅, 藤田 一, 星名秀行, 北村信隆, 栗田 浩, 大西 真, 新垣 晋, 高木律男: MMP-1 遺伝子多型は口腔扁平上皮癌の易罹病性に関連する. 第59回日本口腔科学会総会, 2005. 4. 21-22, 徳島.
- 11) 小田陽平, 金丸祥平, 船山昭典, 中里隆之, 新美奏恵, 新垣 晋, 齊藤 力: 頭頸部がん早期後発転移症例の臨床的検討. 第50回日本口腔外科学会総会, 2005. 10. 24-25, 大阪.
- 12) 小山貴寛, 芳澤享子, 小野和宏, 小林正治, 齊藤 力, 高木律男: 歯の即時自家移植の臨床的検討 - 受容部抜歯時期について -. 第50回日本口腔外科学会総会, 2005. 10. 23-25, 大阪.
- 13) 泉 直也, 芳澤享子, 小島 拓, 齊藤 力: 凍結操作, 凍結温度が凍結保存移植歯の歯周組織再生に及ぼす影響. 第50回日本口腔外科学会総会, 2005. 10. 23-25, 大阪.
- 14) 中西義崇, 泉 健次, 芳澤享子, 河野芳郎, 前田健康, 齊藤力: 培養複合口腔粘膜における VEGF 発現について. 第50回日本口腔外科学会総会, 2005. 10. 23-25, 大阪.
- 15) 高田佳之, 小林正治, 泉 直也, 岩本忠士, 齊藤 力: 新潟大学医歯学総合病院いびき外来受診患者の臨床統計的検討. 第50回日本口腔外科学会総会, 2005. 10. 23-25, 大阪.
- 16) 小林正治, 加納浩之, 芳澤享子, 泉 直也, 小田陽平, 新垣 晋, 齊藤 力: Low-profile チタン製骨接合材の下顎枝矢状分割法における有用性. 第50回日本口腔外科学会総会, 2005. 10. 23-25, 大阪.
- 17) 児玉 香, 五島秀樹, 櫻井健人, 横林敏夫, 小林正治, 新垣 晋, 齊藤 力: 下顎骨後方移動術術後の睡眠時血中酸素飽和度の検討. 第50回日本口腔外科学会総会, 2005. 10. 23-25, 大阪.
- 18) 佐々井敬祐, 島村拓也, 荒沢 恵, 新垣 晋: 顎関節部皮下気腫の1例. 第50回日本口腔外科学会総会, 2005. 10. 23-25, 大阪.
- 19) 加納浩之, 小林正治, 加藤祐介, 本間克彦, 齊藤 力: Le Fort I型骨切り術後に発症した上顎洞アスペルギルス症の1例. 第15回日本顎変形症学会総会, 2005. 6. 2-3, 徳島.
- 20) 加藤祐介, 加納浩之, 小林正治, 齊藤 力: 顔面非対称の治療における咬合平面の設定に関する研究 - 術前正貌写真と正面頭部X線規格写真の分析比較 -. 第15回日本顎変形症学会総会, 2005. 6. 2-3, 徳島.
- 21) 竹山雅規, 森田修一, 山田秀樹, 武藤祐一, 齊藤 力, 高木律男, 齋藤 功: オトガイ形成術後の長期的形態変化, または Long-term investigation on morphological changes in chin region following genioplasty. 第15回日本顎変形症学会総会, 2005. 6. 2-3, 徳島.
- 22) 中里隆之, 新美奏恵, 新垣 晋, 齊藤 力: 末梢血中がん細胞に増腫瘍能はあるか. 第29回日本頭頸部癌学会総会, 2005. 6. 15-17, 東京.
- 23) 新美奏恵, 中里隆之, 新垣 晋, 齊藤 力: 口腔がん患者の末梢血液中がん細胞の検出法に関する検討. 第29回日本頭頸部癌学会総会, 2005. 6. 15-17, 東京.
- 24) 平 周三, 林 孝文, 勝良剛詞, 新垣 晋, 星名秀行: 舌・口底癌における舌リンパ節の画像所見とその意義について. 第29回日本頭頸部癌学会総会, 2005. 6. 15-17, 東京.
- 25) 小田陽平, 泉 直也, 小林正治, 齊藤 力: 粘膜下口蓋裂を伴ったフロッピーインファントの1例. 第29回日本口蓋裂学会, 2005. 5. 25-26, 東京.
- 26) 渡邊直子, 寺田員人, 須佐美隆史, 朝日藤寿一, 小野和宏, 幸地省子, 森田修一, 高木律男, 齋藤 功, 毛利 環, 齊藤 力: 新潟大学における Goslon Yardstick を用いた片側性口唇裂口蓋裂患者の咬合評価 - 2段階口蓋形成手術の影響 -. 第29回日本口蓋裂学会, 2005. 5. 25-26, 東京.
- 27) かづきれいこ, 寺田員人, 朝日藤寿一, 齋藤 功, 飯田明彦, 小野和宏, 高木律男, 小林正治, 齊藤 力, 北村絵里子, 古郷幹彦: リハビリメイクの精神心理学的アプローチについて. 第29回日本口蓋裂学会総会, 2004. 5. 25-26, 東京.
- 28) 芳澤享子, 小山貴寛, 中西義崇, 小野由起子, 飯田明彦, 鈴木一郎, 齊藤 力, 高木律男: 動物由来物質を含まない培養システムによる培養口腔粘膜の開発. 第15回日本口腔粘膜学会総会, 2005. 7. 7-8, 熊本.
- 29) 庭野将広, 星名秀行, 小野和宏, 飯田明彦, 高木律

- 男,加納浩之,小島 拓,小林正治,高田佳之,齊藤 力:新潟大学医歯学総合病院口腔外科における骨移植・インプラント症例の検討.平成17年度新潟歯学会総会,2005.4.16,新潟.
- 30) 島村拓也,佐々井敬祐,新垣 晋:上唇に生じた唾石症の一例.平成17年度新潟歯学会総会 2005.4.16,新潟.
- 31) 大久保雅基,横林敏夫,清水 武,五島秀樹,鈴木理絵,櫻井健人,長田美香:除去にいたったオトガイ部シリコンインプラントの1例.平成17年度新潟歯学会総会,2005.4.16,新潟.
- 32) 横林敏夫,清水 武,五島秀樹,鈴木理絵,櫻井健人,長田美香,大久保雅基:最近1年間の来院患者の臨床統計的検討および原価計算.平成17年度新潟歯学会総会,2005.4.16,新潟.
- 33) 古里美幸,森田修一,朝日藤寿一,竹村 史,小野和宏,高木律男,齊藤 力,齋藤 功:Hotz床併用二段階口蓋形成手術を行った片側性唇顎口蓋裂患者における外鼻形態の成長変化.平成17年度新潟歯学会第1回例会,2005.7.9,新潟.
- 34) 前川孝治,豊里 晃,荒井良明,櫻井直樹,佐藤一弘,佐藤孝弘,藤井規孝,石井多恵子,岡部香織,田中 裕,星名秀行,瀬尾憲司,魚島勝美,齊藤 力,高木律男,染矢源治:当科外来で全身管理した歯科インプラント手術の動向.平成17年度新潟歯学会第1回例会,2005.7.9,新潟.
- 35) 相川 弦,長谷部大地,金丸祥平,小林正治,鈴木一郎,新垣 晋,齊藤 力:新潟大学医歯学総合病院口腔再建外科診療室の受診患者動向に関する検討.平成17年度新潟歯学会第1回例会 2005.7.9,新潟.
- 36) 西澤理史歩,永田昌毅,藤田 一,星名秀行,板垣真奈美,久保田健彦,勝良剛詞,新垣 晋,栗田浩,大西 真,吉江弘正,高木律男:MMP-1 遺伝子多型は口腔扁平上皮癌の易罹病性に関連する.平成17年度新潟歯学会第1回例会 2005.7.9,新潟.
- 37) 近藤千鶴,郷梨江香,佐々木美紀,林 孝文,朔 敬,程 磧,芳澤享子,高木律男:慢性硬化性唾液腺炎における造影CTによる増強効果の経時的評価の有用性.平成17年度新潟歯学会第1回例会,2005.7.9,新潟.
- 38) 小川亮一郎,齊藤 力,大島勇人:マウス舌下部への自家歯牙移植実験による歯髄分化能の検索.平成17年度新潟歯学会第2回例会,2005.11.5,新潟.
- 39) 黒川 亮,永田昌毅,星名秀行,藤田 一,関 雪絵,大西 真,栗田 浩,齊藤 力,新垣 晋,朔 敬,高木律男:舌癌悪性度に関するインテグリン遺伝子発現の定量的検討.平成17年度新潟歯学会第2回例会,2005.11.5,新潟.
- 40) 小島 拓,網塚憲生,鈴木晶子,芳澤享子,齊藤 力,前田健康:ポリ乳酸プレートおよびhydroxyapatite補填材併用による骨再生の組織化学的検索.平成17年度新潟歯学会第2回例会,2005.11.5,新潟.
- 41) 中西義崇,泉 健次,芳澤享子,河野芳郎,小山貴寛,前田健康,齊藤 力:培養複合口腔粘膜における血管内皮細胞成長因子(VEGF)発現-放出パターンとその作用について-.平成17年度新潟歯学会第2回例会,2005.11.5,新潟.
- 42) 大久保雅基,横林敏夫,清水 武,五島秀樹,鈴木理絵,櫻井健人,上杉崇史:最近5年間の幼児の顎顔面口腔外傷患者の臨床統計的観察.平成17年度新潟歯学会第2回例会,2005.11.5,新潟.
- 43) 大沢 大,鈴木啓展,監物新一,齊藤 力,内田隆,大島勇人:エナメル質形成不全を呈する突然変異ラットにおけるエナメル芽細胞の形態変化とエナメルタンパク質の局在について.第47回歯科基礎医学会学術大会・総会,2005.9.28-30,仙台.
- 44) 船山昭典,程 磧,小林孝憲,丸山 智,新垣 晋,齊藤 力,朔 敬:口腔粘膜扁平上皮癌境界病変におけるリンパ管の分布様式.第47回日本歯科基礎医学会総会,2005.9.28-30,仙台.
- 45) 小島 拓,網塚憲生,鈴木晶子,芳澤享子,齊藤 力,前田健康:ポリ乳酸プレートとhydroxyapatite/atelocollagen複合骨補填材による骨増生の組織化学的検索.第47回歯科基礎医学会学術大会 2005.9.28-30,仙台.
- 46) 下村淳子,網塚憲生,小島 拓,前田健康,下岡正八:Blomstrand型およびJansen型軟骨異形成症を誘導する変異型PTH/PTHrP受容体の細胞内局在異常について.第47回歯科基礎医学会学術大会,2005.9.28-30,仙台.
- 47) 中西義崇,芳澤享子,河野芳郎,前田健康,齊藤 力:培養複合口腔粘膜における血管内皮細胞成長因子(VEGF)発現.第47回歯科基礎医学会学術大会,2005.9.28-30,仙台.
- 48) 小島 拓,網塚憲生,鈴木晶子,芳澤享子,齊藤 力,前田健康:ポリ乳酸プレートとハイドロキシアパタイト骨補填材を応用した骨増生法の開発.第23回日本骨代謝学会,2005.7.20-23,大阪.
- 49) 下村淳子,網塚憲生,小島 拓,前田健康,下岡正八:培養骨芽細胞における変異型PTH/PTHrP受容体の細胞内局在異常について.第23回日本骨代謝学会,2005.7.20-23,大阪.
- 50) 高田佳之,小林正治,岩本忠士,西山秀昌,櫻井克也,齊藤 力:陳旧性両側顎関節脱臼の1例.第18回日本学関節学会学術大会,2005.7.29-30,松江.

- 51) 庭野将広, 星名秀行, 高木律男, 加納浩之, 小林正治, 齊藤 力: 新潟大学医歯学総合病院口腔外科における骨移植・インプラントによる咬合再建. 第 67 回日本形成外科学会新潟地方会, 2005. 2. 14, 新潟.
- 52) 加納浩之, 小林正治, 加藤祐介, 高田佳之, 齊藤 力: 当科における矯正用インプラント (Skeletal Anchorage System) の使用経験. 第 67 回日本形成外科学会新潟地方会, 2005. 2. 14, 新潟.
- 53) 新美奏恵, 小林正治, 鈴木一郎, 富澤美恵子, 齊藤 力: 下唇への自傷行為を認めた Lesch-Nyhan syndrome の 1 例. 日本形成外科学会関東支部第 68 回新潟地方会, 2005. 7. 11, 新潟.
- 54) 中里隆之, 小林正治, 加納浩之, 八巻正樹, 星 隆夫, 齋藤 功, 齊藤 力: Skeletal Anchorage System (SAS) の有用性. 第 69 回日本形成外科学会新潟地方会, 2005. 11. 14, 新潟.
- 55) 芳澤享子, 小林正治, 齊藤 力, 小野和宏, 高木律男: 歯の移植に関する臨床的検討. 日本形成外科学会関東支部第 70 回新潟地方会, 2006. 2. 13, 新潟.
- 56) 平 周三, 林 孝文, 西山秀昌, 星名秀行, 芳澤享子, 勝良剛詞, 中島俊一, 小山純一, 田中 礼: 頭頸部癌症例の後発リンパ節転移診断における FDG-PET の応用. 第 46 回日本歯科放射線学会総会 2005. 5. 12-14, 新潟.
- 57) 程 磧, 丸山 智, 鈴木 誠, 芳澤享子, 齊藤 力, 西山秀昌, 林 孝文, 朔 敬: 舌腫瘍. 第 61 回日本病理学会東北支部総会 / 学術集会, 2005. 7. 23-24, 函館.
- 58) 船山昭典, 程 磧, 小林孝憲, 新垣 晋, 齊藤 力, 朔 敬: 口腔粘膜扁平上皮癌境界病変における上皮内血管侵入の認識. 第 94 回日本病理学会総会, 2005. 4. 14-16, 横浜.
- 59) 小島 拓, 網塚憲生, 鈴木晶子, 芳澤享子, 齊藤 力, 前田健康: ポリ乳酸プレートとハイドロキシアパタイト骨補填材を併用した骨増生の試み. 第 25 回日本骨形態計測学会学術集会, 2005. 6. 17-19, 東京.
- 60) 下村淳子, 網塚憲生, 小島 拓, 下岡正八: 培養骨芽細胞および軟骨細胞における変異型 PTH/PTHrP 受容体の細胞内局在. 第 43 回日本小児歯科学会大会, 2005. 5. 26-27, 仙台.
- 61) 高田佳之, 小林正治, 泉 直也, 岩本忠士, 齊藤 力: 閉塞型睡眠呼吸障害に対する口腔内装置の効果について - 上下分離型と一体型の比較検討 - . 日本睡眠学会第 30 回定期学術集会 2005. 6. 30-7. 1, 宇都宮.
- 62) 小林正治, 高田佳之, 泉 直也, 齋藤 功, 齊藤 力: 閉塞型睡眠呼吸障害になり易い日本人 - リスクファクター解明への歯科的アプローチ - . 第 21 回歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集

い, 2005. 1. 8, 東京.

- 63) 寺師浩人, 横尾 聡, 古森孝英, 田原真也, 泉 健次, 芳澤享子, 鈴木一郎, 齊藤 力, 古田 勲: 安全な培養複合口腔粘膜の作製方法とその臨床応用. 第 35 回日本創傷治癒学会, 2005. 12. 5-6, 東京.

【研究会発表】

- 1) 小田陽平, 金丸祥平, 船山昭典, 中里隆之, 新美奏恵, 新垣 晋, 齊藤 力: 口腔がんに対する TXT+CDDP+5FU 導入化学療法 of 検討. 第 6 回新潟口腔癌化学療法研究会, 2005. 5. 27, 新潟.
- 2) 小田陽平, 金丸祥平, 船山昭典, 中里隆之, 新美奏恵, 新垣 晋, 齊藤 力: 頭頸部がん早期後発転移症例の臨床的検討. 新潟癌治療研究会 2005. 7. 16, 新潟.
- 3) 岩本忠士: 再発を認めた多形低悪性度腺癌 (PLGA) の一例. 第 56 回新潟口腔外科麻酔科集談会, 2005. 6. 9, 新潟.
- 4) 芝加奈子: 原発巣切除 5 年経過後, 頸部リンパ節に転移を認めた若年者粘表皮癌の一例. 第 57 回新潟口腔外科麻酔科集談会, 2005. 11. 10, 新潟.

顎顔面口腔外科学分野

【論文】

- 1) Kodama Y., Miyazawa M., Fukuda J., Iida A., Ono K., Takagi R.: Progressive hemifacial atrophy treated by orthodontic surgery. *Oral Science Int.*, 2(2): 131-135, 2005.
- 2) Kazi S. H., Amizuka N., Ikeda N., Nozawa-Inoue K., Suzuki A., Li M., Takeuchi K., Aita M., Kawano Y., Hoshino M., Oda K., Takagi R., Maeda T.: Histochemical Evidences on the Chronological Alterations of the Hypertrophic Zone of Mandibular Condylar Cartilage. *Microsc. Res. Tech.*, 67: 325-335, 2005.
- 3) Aita M., Seo K., Fujiwara N., Takagi R., Maeda T.: Postnatal changes in the spatial distributions of substance P and neurokinin-1 receptor in the trigeminal subnucleus caudalis of mice. *Dev. Brain Res.*, 155: 33-41, 2005.
- 4) Suzuki A., Nozawa-Inoue K., Ikeda N., Amizuka N., Ono K., Takagi R., Maeda T.: Development of the Articular Cavity in the Rat Temporomandibular Joint With Special Reference to the Behavior of Endothelial Cells and Macrophages. *Anat. Rec. Part A.*, 286: 908-916, 2005.
- 5) Iida A., Narai S., Takagi R., Ono K., Ikeda N.: Blepharo-Cheilo-Dontic (BCD) Syndrome: Case Report. *Cleft Palate-Craniofacial Journal*: 43(2),